

平成30年8月21日
東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

| | |
|-----|--|
| 標 題 | 出雲そば生産組合の平成30年度活動計画決定！ － さらなる生産安定化・品質向上を目指して－ |
|-----|--|

(ダイジェスト)

7月30日、平成30年度出雲そば生産組合定期総会が開催されました。新役員の下、作付計画の策定、排水対策の徹底による安定生産、異物混入防止による品質向上および出雲そばのPR活動促進に取り組んでいくこととなりました。

7月30日(月)、出雲そば生産組合(組合員数:63名)の平成30年度定期総会が開催され、①適正な品種別作付計画、②的確な排水対策や播種、③収穫時の異物混入防止、④出雲そばのPR活動に取り組んでいくことを申し合わせました。具体的な内容は次のとおりです。

①適正な品種別作付計画

「信濃1号」を67.9ヘクタール、「出雲の舞」を67.9ヘクタール、合計128.9ヘクタール栽培する計画とする。(生産組合が発足した平成15年の約10倍。当初は「信濃1号」のみ栽培していたが、平成24年からは「出雲の舞」を本格的に作付けに追加。)

②的確な排水対策や播種計画

ソバは畑作物の中でも湿害に特に弱いため、明渠を必ず作り、降雨に備えた排水対策を徹底する。また、収穫コンバインの共同利用や共同乾燥施設を活用し、播種や収穫の綿密な実施計画を立案・実施する。

③収穫時の異物混入防止

ソバの品質低下防止のため、収穫ほ場内の帰化アサガオ類等雑草の除去や、コンバイン内の異物等除去を徹底する。

④出雲そばのPR活動

出雲そばまつり、および各地区農業祭等での出雲そばの普及に係わる活動や、食農教育に係わる活動を支援する。

当普及部としては、採択された活動方針が実現できるよう組合員の声を聞きながら、関係機関と連携し、日本三大そばである出雲そばの原料となるソバ生産を支援していくことにしています。

